

変革の時代、適切な対応を

22年度通常総会 川内衆議に顧問委嘱状



写真は左から
逆瀬川支部長、
諸藤理事長、
川内所長と
総会会場

(社)九州住宅建設産業協会鹿児島県支部は去る13日、鹿児島市のKKR鹿児島敬天閣で平成22年度通常総会を開き、事業計画、収支予算などを原案通り可決、承認した。また民主党の川内博史衆議院議員に顧問委嘱状を交付、保岡興治氏(前衆議)の顧問は継続することが明かされた。

総会には会員31人のうち23人が出席。上村邦典副支部長(MBC開発常務取締役)の司会進行、日高文治監事(ネットワーク代表取締役)が開会を告げた。

冒頭の挨拶で逆瀬川勇支部長(三洋ハウス代表取締役)は「政権交代後の政局も含めて今後どうなっていくのか不透明な情勢にあり、皆さんも心配のことと思いますが、来年3月の九州新幹線全線開通まであと10ヵ月ほどです。県や市など行政は激化が予想される都市間競争に備えているいろいろな手立てをしています。我々も地域社会の発展を念頭に手を打っていく必要があります。それが結果的に会社の業績に繋がると信じます」と述べ、変革の時代への適切な対応を促したほか、鹿児島1区の川内衆議が顧問に承認され、同区前衆議の保岡興治氏は引き続き顧問であることを説明した。

議事は逆瀬川支部長を議長に選出して議題審議平成21年度の事業報告及び決算報告(3,278,018円)、

22年度の事業計画案及び収支予算案(2,632,422円)の全議案を満場一致で可決承認した。

総会後は別室に場所を移して懇親会。任期満了に伴う4月27日の改選で新理事長に決まった諸藤敏一氏(コーセーアールイー代表取締役)は、「九住協発足50年で10代目の理事長になります。皆さまに要望などいただき、その実現にも努めていきたい」と挨拶、最近の景況について「東京は景気が良くなっているが、福岡も意外と良いです。連休前のことですが、福岡百道の物件で平均価格5,000万円、総戸数30戸が2週間で半分売れています。ピンポイントで消費者の心を掴めば売れないことはない」と確信しております」と述べた。

川内博史衆議院議員への顧問委嘱状が諸藤理事長から川内後援会事務所の川内榮所長へ手渡されたあと、上村副支部長の乾杯の音頭で開宴、諸藤理事長、本部事務局の尾西一成総務課長らを囲んで和やかに懇談した。

部会・委員会の21年度事業計画概要は下記の通り。

の積極的参加についてバックアップする。

【政治・行政部会】

①顧問の方々を中心に政治家の方々とのネットワークの構築を図る。②行政関係の方々とのネットワークの構築を図る。③第4回チャリティボウリング大会を11月に開催する。開催にあたり、大会実行委員会を設置する。月例会は行わない。昨

年同様、パーティ形式で会員と社員を含めての懇親会を行う。ゲームの進行とパーティの開催がスムーズになるよう開催時間については考慮する。予算と会費をやりくりし、できるだけ多くの寄付ができるように努力する。

【研修委員会】

現下の厳しい経済情勢のなかで生き残っていくためには、単に事業継続だけでなく、新しいサービスの提供や既存サービスでの異なるアプローチ等による新たな付加価値の創造が必要となっている。そこで今年度、研修委員会としては市場マーケットを調査し、今後ユーザーに何が求められ、どのようなサービスを提供していけばよいのかについて必要な研修を企画し、実施していこうと考えている。

【組織拡充委員会】

①現会員は31社であるが、50社を目標に会員拡大を行う。また、安定会員数として35社を確保す

る。②2ヵ月ごとの定例会及び本部主催の事業・研修の機会を捉えて新規会員予定者を伴い、積極的に参加する。③3月の定例会において、講師を招き研修を行う。

【広報・企画委員会】

①隔月の例会後に「県支部だより」を発行する。
・「県支部だより」を郵送で本部及び会員に届ける。
・その他関係官庁のピックアップを行い、「県支部だより」を届けることで会の認知度アップを図る。
・本部のホームページに「県支部だより」の掲載を行う。
・「県支部だより」に会員紹介コーナーを設ける。※会員の紹介を行いPRすることで会員間の情報交換や交流の一助とする。
②9月定例会の開催(9月9日(木)18時00分～KKR鹿児島敬天閣)
③その他・広報企画委員会として地域一般の皆様に対して、九住協の目的と鹿児島県支部会員のPRを模索していく。

平成22年度役員・部会・委員会構成

【役員】 支部長・本部副理事長 逆瀬川 勇(三洋ハウス(株)社長)
副支部長・本部理事 上村 邦典(MBC開発(株)常務)

【部会・委員会】 監事・本部理事 日高文治(株ネットワーク社長)

	氏名	会社名	役職
総務部会 (5名)	部長 江原 充志 (江原&パートナーズ社労士事務所代表)	酒 匂 裕 己	司法書士酒匂裕己事務所 代表
	副部長 小西 力 (株勝利商會 営業課長)	五反田 正 廣	株ナカムラ 常務
		浜 口 伸 一	横浜ライト工業(株) 社長
政治行政部会 (5名)	部長 田中 藤雄 (有エムデン 社長)	仁田尾 格	株東邦開発 社長
	副部長 坂元 修一 (有三協技術開発 社長)	白瀬 隆 治	株ニューハウス産業 社長
		新谷 昭彦	株加覧組 社長
研修委員会 (7名)	委員 有 蘭 米 也 (株有蘭 社長)	柳 原 良 洋	株プレーリー 社長
	副委員長 藤井 忠弘 (トステム株特販鹿児島営業所 所長)	柳 則 男	国分殖産住宅(株) 営業部長
		藤 田 幸 男	九州電力株鹿児島支店電化営業部住宅電化グループ グループ長
		有 馬 洋	鹿児島酸素(株) 専務
		上 野 敏 孝	株上野城 社長
組織拡充委員会 (7名)	委員長 坂元 俊一 (有カーサ・元 社長)	森 山 輝 男	株野元 社長
	副委員長 峯元 信明 (株ブンカ巧芸社 専務)	濱 田 昭 人	加根又工事(株) 社長
		桑木野 芳明	株技建 社長
		二 俣 真 吾	株フタマタ技建 常務
		古 川 和 人	有さくらハウジング 社長
広報企画委員会 (5名)	委員長 坂本 浩一 (第一交通産業(株)分譲事業部次長)	日 高 文 治	株ネットワーク 社長
	副委員長 松田 英之 (株ベルハウジング 専務)	岩 下 克 己	株カナダプレイス 社長
		笠 谷 昌 克	三協立山アルミ(株) 副主事

11月に第4回ボウリング大会

【総務部会】

①本部との連絡、各部会・委員会と連携をとり、支部の会務がスムーズに進むよう図り、支部の活動を通じて協会の認知度を高める。②委員会・部会活動が積極的に行われるよう交通費の支給等、関連事務を円滑化する。③本部主催の事業・研修